

風早自治協議会まちづくり計画



平成 25 年 3 月

風 早 自 治 協 議 会

目 次

はじめに 風早自治会・風早自治協議会設立準備会の歩み 1

I 風早地区の概要	2
1 万葉の里風早	
2 風早の史跡・伝統行事・イベント	
3 進む高齢化と少子化	
4 風早の地図	
II まちづくり計画策定にあたって	6
1 まちづくりアンケートの実施	
2 アンケート結果	
3 ワークショップの実施	
III まちづくりの将来目標・テーマ	10
1 将来目標	
2 テーマ	
IV 「地いきを元気にしよう！」風早小学校4年生のアイデア	11
V テーマ別事業計画	12
VI 組織体制	18
VII まちづくり計画策定委員名簿	19



はじめに

——— 風早自治会・風早自治協議会設立準備会の歩み ———

私たちは、風早の風土に合った地域づくりと活性化に取り組み、住民主導の自治組織として諸課題の解決をしていきたいと、風早区長会を中心にして各種組織団体代表者による設立委員会を設けて協議を重ねました。

安芸津町が東広島市と合併して一年が経過した平成 18 年 5 月 21 日に「風早自治会」を設立し、愛称を「風の郷」と決めました。

同年 7 月には、自治会広報紙「風の郷」を創刊し、爾来、情報の伝達に努め平成 25 年 3 月には第 16 号を発行するに至りました。8 月には、「自主防災風早」を立ち上げ、安全安心な風早づくりを目指して活動を始めました。さらに、9 月には、「子どもを守る会」を発足させ、児童の登下校時の見守りを続けています。平成 23 年 10 月には長年にわたる活動が評価され、文部科学大臣表彰「学校ボランティア活動奨励賞」を受賞しました。

平成 23 年 6 月には、かねてからの念願でありましたホームページを立ち上げることができました。風早の皆さんは勿論のこと、日本中、世界中の風早出身の方々や関わりのある皆さんが、ページの更新を楽しみに待たれていると思います。

東日本大震災から 1 年目の平成 24 年 3 月 11 日、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、約 460 名が参加して初めての防災訓練を行いました。皆さんの防災意識の向上と防災力を高めることが出来ました。また相互の信頼と絆を深めたことも大きな成果でありました。

まちづくり計画の策定にあたっては、平成 23 年 9 月に全世帯を対象にしたアンケートを実施し、1,114 世帯から回答があり、多くの貴重なご意見も頂きました。策定委員会で、6 月に行った 2 回のワークショップで出されたアイデアとアンケートの結果と頂いた多くの意見を踏まえて、まちづくりについての意見を出し合いました。熟議のうへ、将来目標を「みんなで協力し合う 明るく元気な 魅力いっぱいのまち 風早」と決めました。

昨年 11 月初旬の保野山頂上での万葉火の復活に力を注ぎました。近い将来、瀬戸内海には世界中から多くの観光客がわんさと押し寄せて来るはずで、そのときに備えて、日本、いや世界に向けて、「万葉の里」を標榜していきたいと考えています。燃え盛る万葉の炎を絶やさず継続することで、風早地域の活性化の起爆剤になってほしいと考えています。

長きにわたって慣れ親しんできた「区長」の呼び名は、「自治会長」に変わるようになりました。44 区を 17 自治会に編成替えをした「風早自治協議会」は、策定した「まちづくり計画」の実現に向けて皆様と一緒に進みたいと考えています。従前にも増して、温かいご理解、積極的なご参加とさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

平成 25 年 3 月 17 日

風早自治協議会設立準備会

会 長 上 川 一 水

I 風早地区の概要

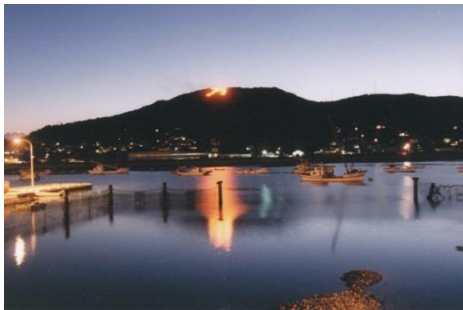
1 万葉の里風早 古代を感じ、山の幸・海の幸に恵まれた風光明媚な里



標高296.4mの保野山から見た風早

風早の歴史は古い。

万葉集に、奈良時代の736年に派遣された新羅使節の一人が、風早の浦に船泊した夜に作った歌2首が載っている。風早は、都にも知れた古代の瀬戸内海航路の要港であった。



三津湾に写る万の字のかがり火

万葉の里にふさわしく、風早の祝詞山八幡神社境内に万葉歌碑と歌碑をイメージした万葉陶壁がある。また、保野山山頂には巨大な万の字が作られている。11月の「火とグルメの祭典あきつフェスティバル」の一日目の夕刻には、風早の人の手によって「万文字焼き」が行われる。

万の字が灯る、296.4mの保野山の山頂から、風早が一望できる。

頂上に立ち、北方面に目をやると、屏風を立てたように標高200m～500m程度の山なみが連なり、北風から風早を守っているように見える。

中腹の丘陵地には、昭和初期頃に植えられた果樹畑が続き、4月頃になるとびわ袋の花が咲く。山城・寺社・宝篋印塔などの古墓もあり、中世の風早が偲ばれる。



保野山麓のびわ畑

山地の谷間を通過して、高野川・蛇道川・宇造川・観

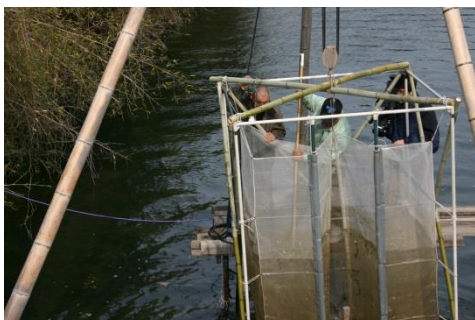
音川などが三津

湾に流れ込む。川

の総延長は短く、流量は少ない。昭和59年に広島県水道用水が来る以前は、夏場は毎年のように水不足に悩まされていた。

風早の春の風物詩である「しろうお漁」は、かつてはどの川でも行われていたが、今は、高野川だけとなった。

山地に続く平地は狭く、山がすぐに海に接する。平地の大部分は、江戸時代に築かれた干拓地と太平洋戦争中に大型造船所用地として埋立てられたもので、戦後は一時期農地として利用された。昭和39年に国道185号が開通すると、住宅や商業施設が建ち始め、工場が進出するなど安芸津一の賑わいを呈するようになった。



春の風物詩 高野川のしろ魚漁



風早の干拓地
(農地から商業・工業用地へ)

三津湾には7つの島がある。そのうち、果樹栽培の盛んな大芝島，自然体験村の龍王島と江戸時代にのろしを挙げた小芝島の3島は，風早に属している。湾内には，昭和30年から始まったカキ養殖の筏が浮かんでいる。10月になると，県内のトップを切ってカキ打ちが始まり，国道沿いの10か所余のカキ打ち作業場に「生カキ直売所」の幟が建つ。

2 風早の史跡・伝統行事・イベント

史跡名	場所	概要
石垣	浄福寺	築造時代が桃山・江戸・明治以降の3層の石積みが見られる。
棟札	祝詞山八幡神社	江戸時代以前の神社改築の棟札が現存
神賑行列	祝詞山八幡神社	10月の第一日曜日に行われる祝詞山八幡神社の秋季大祭の行列。200年以上の歴史がある。
コバンモチの群落	祝詞山八幡神社境内	社叢にコバンモチが群生している。
風早審磨碑	祝詞山八幡神社境内	続日本後紀に，風早審磨が833年天皇より孝養を賞されて，勅命により位三階に叙せられ，租税を免除されたとある。
万葉歌碑	祝詞山八幡神社境内	万葉集に，736年に派遣された遣新羅使の一人が，風早の浦に船泊した夜に作った歌2首が載っている。
遣新羅使船の陶壁	祝詞山八幡神社境内	万葉歌碑をイメージした大陶壁
もっこく	三大妙見神社	樹齢300年といわれる高さ16m，周囲2.5mのモッコクの木
火とグルメの祭典 あきつフェスティバル	安芸津市民グラウンド	11月の土・日の2日間開催。地元をはじめ各地の物産店が並ぶ。
万文字焼き	保野山	あきつフェスティバル1日目の夕刻，万文字焼きを行う。お盆・正月の期間には電球の万文字が点灯。
神明さん	各地区	旧暦の1月15日前後に行う。
盆踊り	各地区	8月15日前後に行う。

3 進む高齢化と少子化

風早地区は、平成 22 年国勢調査によると、人口 4,471 人世帯数 1,734 世帯である。人口の減少傾向が続く一方で、世帯数は増加しており、世帯分離が進んでいると考える。

平成 12 年と 22 年の年齢構成を比較すると、15 歳未満は 14.3%が 2 ポイント減少して 12.3%に、15 歳以上 65 歳未満は、62.9%が 3.9 ポイント減少して 59.0%に、65 歳以上

は 22.8%が 5.9 ポイント増加して 28.7%となっている。

確実に少子化と高齢化が進行している。風早地区の高齢化率 28.7%は、広島県 23.7%、東広島市 19.6%のそれを越えており高齢化が進んでいる地域といえる。

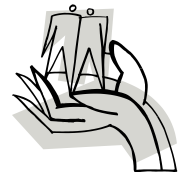
風早の人口及び世帯数の推移

	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
人口総数	4,785	4,695	4,471
男	2,291	2,261	2,181
女	2,494	2,434	2,290
世帯数	1,672	1,725	1,734

大芝地区の人口を含む。H22 年 4 月の大芝地区は 175 人、83 世帯。

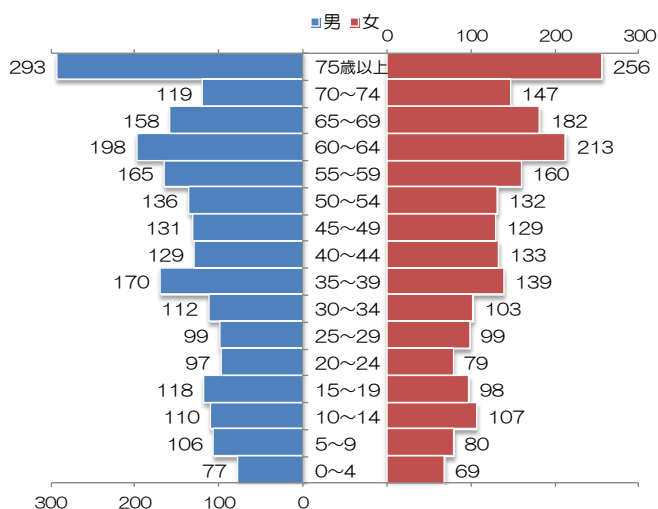
風早の年齢別人口 (国勢調査による)

	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
15 歳未満	684 (14.3%)	670 (14.3%)	549 (12.3%)
15~64 歳	3,010 (62.9%)	2,884 (61.4%)	2,640 (59.0%)
65 歳以上	1,091 (22.8%)	1,141 (24.3%)	1,282 (28.7%)
平均年齢	44.1 歳	45.2 歳	47.6 歳
高齢化率	22.8%	24.3%	28.7%



高齢化率：総人口に占める 65 歳以上の人口の割合

風早の年齢段階別人口構成 (平成 22 年国勢調査)



4 風早の地図



Ⅱ まちづくり計画策定にあたって

風早まちづくり計画策定にあたり、役員会や理事会での協議のほか、まちづくりアンケートやワークショップを実施した。

1 まちづくりアンケートの実施

(1) 目的

今後のまちづくりに対する風早地区住民の幅広いご意見を集約・分析し、風早まちづくり計画策定の基礎資料とする。

(2) 実施時期

平成23年9月22日～10月5日

(3) アンケートの対象

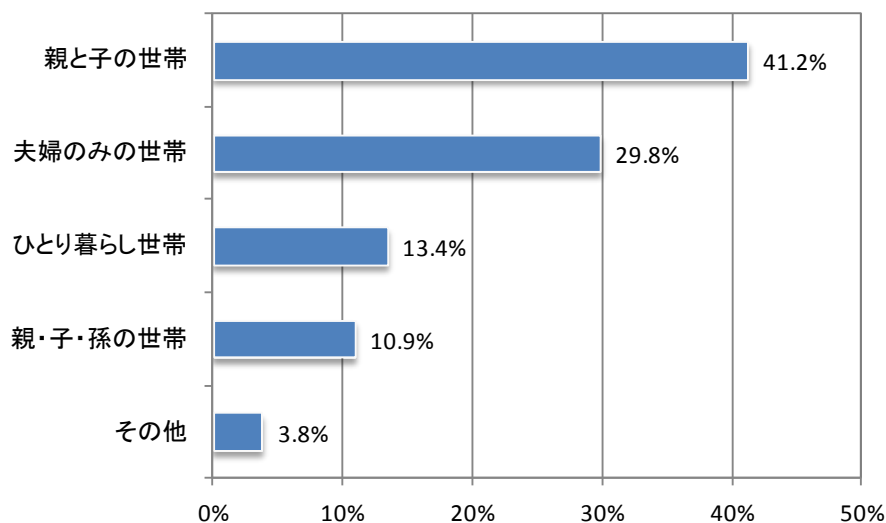
風早地区の自治会加入全世帯1,667世帯にアンケート用紙を一部配布

(4) アンケート回収数及び回収率

回収部数 1,114部 回収率 66.8%

2 アンケート結果

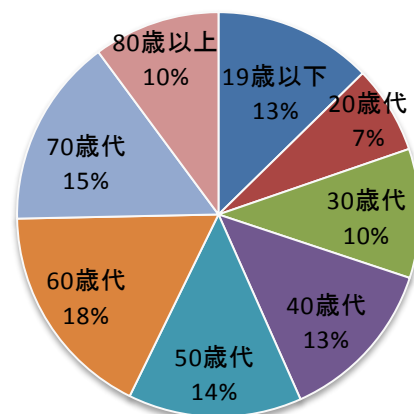
(1) 回答者の世帯構成



(2) 回答者の世帯員の年齢

世帯構成は、親と子の二世帯世帯が約40%、親と子・孫の三世帯世帯は約11%に過ぎない。夫婦のみの世帯が約30%で、一人暮らし世帯が約13%占めている。

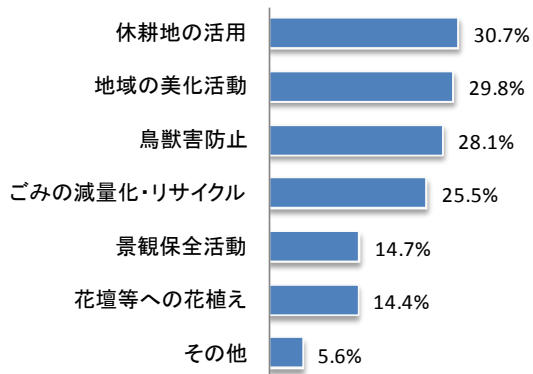
世帯員の年齢は、60歳代がもっとも多く(18%)、続いて70歳代が約15%となっており、高齢者が多いことがわかる。



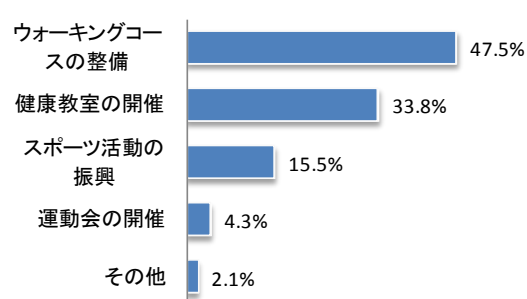
(3) テーマごとに取り組む活動

テーマごとに、今後、風早地域で取り組んでいったほうがよいと思われる内容について聞いたところ、以下のような結果が得られた。

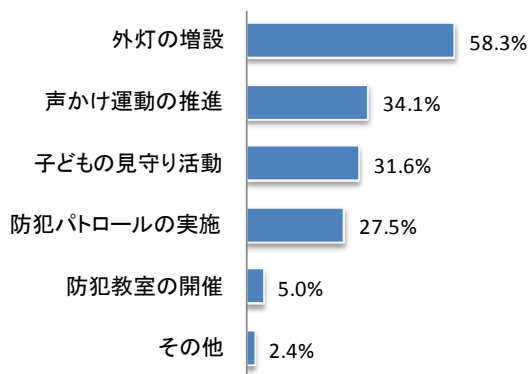
(ア) 環境・景観



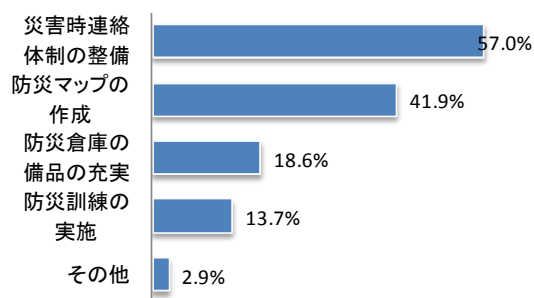
(イ) 健康づくり



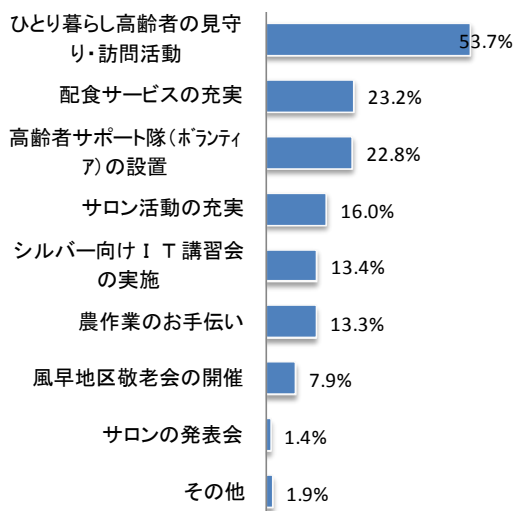
(ウ) 防犯



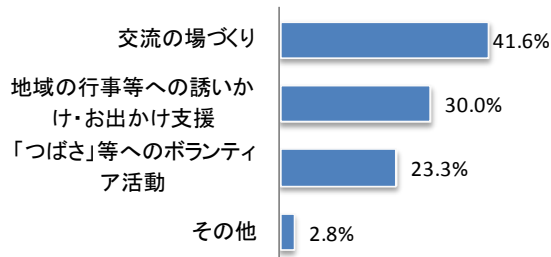
(エ) 防災



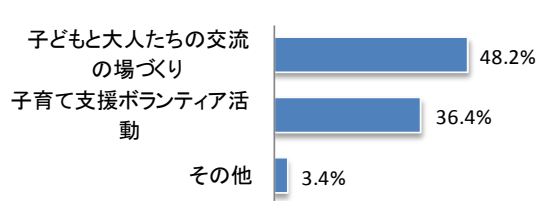
(オ) 高齢者サポート



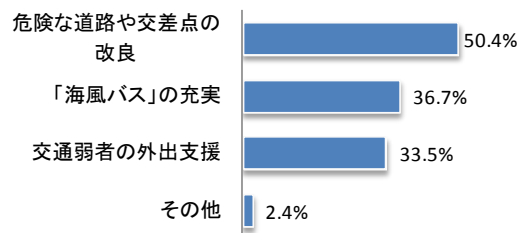
(カ) 障がい者サポート



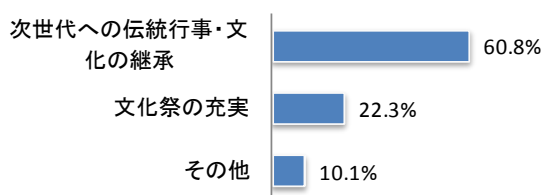
(キ) 子ども育成



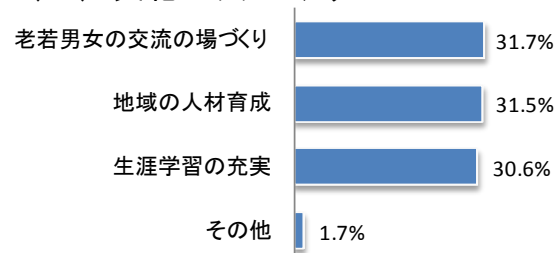
(ク) 生活交通の確保



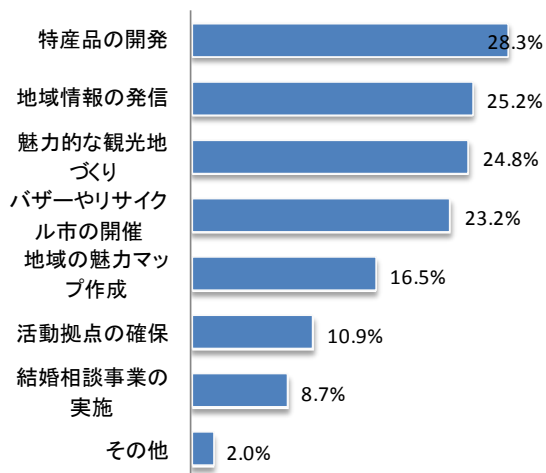
(ケ) 伝統行事・文化の継承



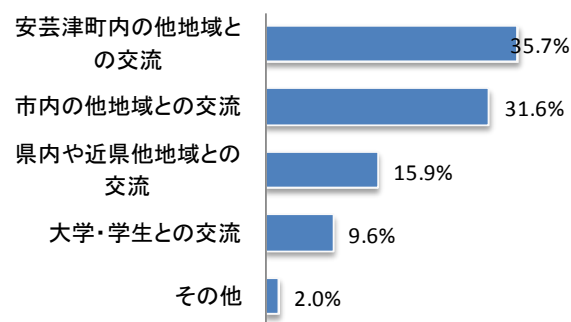
(コ) 文化・人づくり



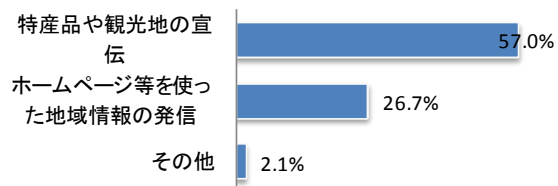
(サ) 地域活力の向上



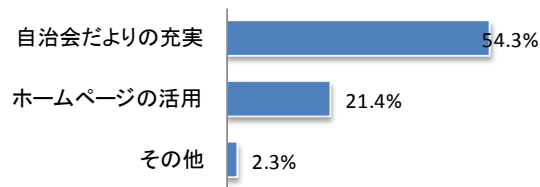
(シ) 他地域との交流



(ス) 外部への情報発信



(セ) 地域内での情報共有



3 ワークショップの実施

平成24年6月9日と6月23日に、風早地域センターに風早の住民が集まり、2回のワークショップ（全員参加型の話し合い）を行った。

○第1回ワークショップ（平成24年6月9日実施）

「教育文化」「環境福祉」「健康体育」「防災防犯」「地域づくり」の5グループに分け、それぞれのグループのテーマに関連した「地域の課題と強み」について意見を出しあい、グループ内で話し合ったのちに全体で発表を行った。



第1グループ 【教育文化】	
子供の課題 子供の主体性が育まれていない 子供が興味に注意を向けてくれない 子供達が受け身である 塾や習い事で忙しすぎてあそびの時間が少ない 子供の下校路が危険だ 放課後学校で遊んで帰らない 子供に笑顔が少ない	課題 遊び場（地域） 子供の遊び場が少ない 公園がない 子供が遊ぶの場所が少ない 安全安心な環境がない 街灯が少ない 道路が狭く、交通量が多い 地域行事 行事や祭りが少ない 親が地元のことに参加できない 子供の良き 一度きりの活動が多い 大変面白い子供が多い 大きな声で挨拶してくれる
親の課題 参加の日、親の負担が多い 子供会の親たちが受け身である 親が活動に積極的でない	強み 子供の良き 親の良き 学校の良き 学校がオープンになっている 校長が熱心 山や水があり自然が多い 地域行事への参加 行事や祭りに参加している 行事や祭りに参加している 行事や祭りに参加している 交流の場 学校や公民館で交流している 学校や公民館で交流している

○第2回ワークショップ（平成24年6月23日実施）

第1回のワークショップで出た課題を受けて、各グループで課題解決策について考え、解決策を生かした活動の計画案を立て、発表をした。



第1グループ 【教育文化】	
地域ぐるみで子供たちを育て、マナーを育てる 声かけ、注意が出る環境づくり、あいさつが出来るように 見守り隊のだけでなく保護者も参加して見守り活動をする	親子で楽しむ会や、学びあふたりする場をつくる 本郡だけでなく他の市の参加しやすくなるように 行事終了後のコミュニケーションの場を増やす 家族が集まる 行事終了後のコミュニケーションの場を増やす 家族が集まる 行事終了後のコミュニケーションの場を増やす 家族が集まる
安全安心な環境をつくる（街灯が少ない、歩道がない） 地域ぐるみで街灯を増やす 交通安全ポスター ヘルメットに安全シール、マナーシールをつける	地域行事への参加を増やす 子供会が積極的に参加する 地域行事には子供だけでなく親の参加も促す 行事をまとめる 行事をまとめる 行事をまとめる 行事をまとめる
子供会活動の活性化 1年目の到達目標 会長サミット開催 活動内容 ・遊園地 ・子供会 ・交通安全 ・交通安全	子供会活動の活性化 3年目の到達目標 全員参加！！（地域行事） 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全

第1グループ【教育文化】 活動計画シート			
■年次計画書づくり（平成25～27年度）			
具体的な活動内容	計画の進捗		
	<1年目の計画予定 ます〇から始める	<2年目の計画予定 2年目は、あれこれを始め	<3年目の計画予定 仕上げの年、目標を実行
地域全体のコミュニケーションの活発化（遊びマップ、交通安全ポスター）	1年目の到達目標 各会の実施把握 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全	2年目の到達目標 各会の実施把握 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全	3年目の到達目標 各会の実施把握 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全
子供会活動の活性化	1年目の到達目標 会長サミット開催 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全	2年目の到達目標 参加意識を高める 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全	3年目の到達目標 全員参加！！（地域行事） 活動内容 ・遊園地 ・交通安全 ・交通安全
見守り活動への保護者参加	1年目の到達目標 ルールづくり（説明） 活動内容 ・交通安全 ・交通安全	2年目の到達目標 実施 活動内容 ・交通安全 ・交通安全	3年目の到達目標 検証一環 活動内容 ・交通安全 ・交通安全



Ⅲ 今後5年間を目標期間としたまちづくりの「将来目標」と「テーマ」

1 将来目標

みんなで協力し合う 明るく元気な 魅力いっぱいのまち 風早

2 テーマ

- ① 文化を大切にし 子どもがこころ豊かに育つ まちづくりをめざす。
(文化・教養の向上と子どもの教育などに関すること)



- ② 「お互いさま」とみんなで支え合う まちづくりをめざす。
(生活環境の改善と福祉の向上などに関すること)



- ③ 健康で生き生きと暮らせる まちづくりをめざす。
(地域住民の健康と体力の増進などに関すること)



- ④ 安心して暮らせる住みよい まちづくりをめざす。
(地域の防災・防犯などに関すること)



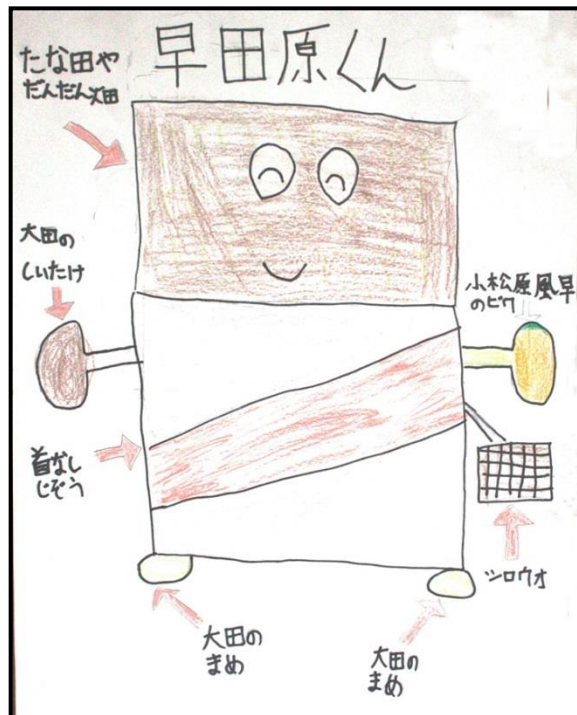
- ⑤ 人が集い 活力あふれる まちづくりをめざす。
(地域の絆づくり, 地域の活性化, 担い手づくりなどに関すること)



IV 「地いきを元気にしよう！」風早小学校4年生のアイデア

風早小学校の4年生が、「総合的な学習の時間」の「校区を知ろう」という単元で、風早小学校区内のまつり・農作物・棚田・神社のことを調べました。

学習後、「地いきに元気になってほしい」とテーマの作文や風早小学校区の「イメージキャラクター」をデザインしました。



風早小学校4年 中島魁央

地いきが元気になってほしい

風早小学校四年 丹下 智乃

わたしは、総合的な学習の時間に、校区を知るといふ勉強で地いきについて調べて、発表をしました。

グループの発表を聞いて、いろいろな祭りがあるんだなと思いました。でも、もっと多くの人たちに祭りに参加してもらおうと思って、祭りに参加する人が多くなるアイデアを考えました。

わたしが考えた一つ目は、せんでんしたらいいと思います。ポスターを作って、地いきの人たちにくばると多くの人に参加すると思います。

二つ目は、参加した人たちに少しのプレゼントをしたらいいと思います。例えば、えん筆やおかしなどです。

三つ目は、いろいろな祭りにテレビ局をよぶと、テレビで放送されて、有名な祭りになると思っています。テレビを見た人が、楽しそうと思って多くの人が祭りに参加すると思えました。

わたしは、何年後かわからないけど、アイデアを使って、地いきの祭りに、今よりたくさんの人に楽しいとおもって、参加してくれるようにしたいです。未来の風早の祭りに、全部合わせて、何人が参加してくれるかを楽しみにしています。

V テーマ別の事業計画

【活動計画についての表示のみかた】

○事業名【何をするのか】

○優先順位

- <区分> A・・・住民の意識が非常に高く、最優先で実施すべき事業
B・・・住民の意識は比較的高く、優先して実施すべき事業
C・・・住民の意識は少ないが、実施が必要な事業

○実施主体

- <区分> 自主・・・住民自治協議会が実施するもの
協働・・・行政、または他の組織との協働により実施するもの

○担当【だれがするのか】

○財源

- <区分> 自己（自己財源）・・・会費等の自己財源で実施するもの
交付（交付金）・・・市の交付金で実施するもの
その他

○事業実施計画

- <区分> 検討期間 - - - ->
実施期間 ●————>



①文化を大切にし 子どもがこころ豊かに育つ まちづくりをめざす (文化・教養の向上と子どもの教育などに関すること)
 (検討 ----▶) (実施 ●▶)

事業名 継(継続事業)・新(新規事業)	優先 順位	実 施			事業実施計画				
		主体	担 当	財源	H25	H26	H27	H28	H29
継 メタセコイヤ文化祭(児童と地域の人 の作品展示・イルミネーション点灯他)	A	自主	教育文化部会 (風早小学校 PTA)	自己	●▶	▶	▶	▶	▶
継 子どもと地域の人との交流事業(ゆー すふるサンデー事業, フラワーロード他)	A	自主	教育文化部会(青少年育 成・地域まるごと)	交付 自己	●▶	▶	▶	▶	▶
継 教育講演会 (文化・子育て講演会)	A	自主	教育文化部会 (風早小学校 PTA)	自己	●▶	▶	▶	▶	▶
新 子育てサロン (幼児と保護者の集い)	B	自主	教育文化部会	自己	●----▶	●▶	▶	▶	▶
新 風早観光マップの作成 (施設・文化財・史跡他)	B	自主	教育文化部会 (ボランティアガイドの会)	交付 その他	●----▶	●----▶	●▶	▶	▶



②「お互いさま」とみんなで支え合う まちづくりをめざす (生活環境の改善と福祉の向上などに関すること)

(検討 ----▶) (実施 ●▶)

事業名 継(継続事業)・新(新規事業)		優先 順位	実施			事業実施計画				
			主体	担当	財源	H25	H26	H27	H28	H29
継	高齢者配食サービス事業	A	自主	環境福祉部会(女性会 民生児童委員・在宅高 齢者見守り協力員)	自己	●▶	▶	▶	▶	▶
継	環境美化事業 (散乱ごみ清掃活動)	A	自主	環境福祉部会 (公衆衛生協議会)	自己 交付	●▶	▶	▶	▶	▶
継	ウォーキングコース整備事業 (干拓堤防清掃活動)	A	自主	環境福祉部会 (公衆衛生協議会)	自己 交付	●▶	▶	▶	▶	▶
新	要支援者サポート活動 (日常の見守り・支援活動, 災害時避難支援)	A	協働	環境福祉部会(民生児 童委員・在宅高齢者見 守り協力員・寿大学等)	自己	●----▶	●▶	▶	▶	▶
継	世代間の交流の促進事業 (高齢者とのふれあい活動)	A	自主	環境福祉部会(民生児 童委員・在宅高齢者見 守り協力員・寿大学等)	自己	●▶	▶	▶	▶	▶
新	シルバー向けIT講習の実施	B	自主	環境福祉部会	自己	●----▶	●▶	▶	▶	▶



③ 健康で生き生きと暮らせる まちづくりをめざす (地域住民の健康と体力の増進などに関すること)

(検討 ----▶) (実施 ●▶)

事業名 継(継続事業)・新(新規事業)		優先 順位	実施			事業実施計画				
			主体	担当	財源	H25	H26	H27	H28	H29
継	市民スポーツ大会出場 (陸上, 球技の部)	A	自主	健康体育部会 (体育振興会)	交付 自己	●▶	▶	▶	▶	▶
新	スポーツ大会の開催 (ウォーキング等)	B	自主	健康体育部会 (体育振興会)	自己	●▶	▶	▶	▶	▶
新	ウォーキングコース整備事業(案内板等を 設置し, ウォーキングコースとして整備)	B	自主	健康体育部会 (体育振興会)	自己	●----▶	●▶	▶	▶	▶
新	健康教室の開催 (体力づくり・健康づくり等の教室の開催)	B	協働	健康体育部会 (体育振興会)	自己	●----▶	●▶	▶	▶	▶



④ 安心して暮らせる住みよいまちづくりをめざす (地域の防災・防犯などに関すること)

(検討 ---->) (実施 ●-->)

事業名 継(継続事業)・新(新規事業)		優先 順位	実施			事業実施計画				
			主体	担 当	財源	H25	H26	H27	H28	H29
継	子ども見守り事業 (児童の登下校時の見守り活動)	A	自主	防災防犯部会 (子どもを守る会)	自己	●	●	●	●	●
継	防災訓練の実施 (災害時の避難訓練)	A	協働	防災防犯部会 (自主防災)	自己	●	●	●	●	●
継	防災対策事業 (土のう作り)	A	自主	防災防犯部会 (自主防災)	自己	●	●	●	●	●
継	防災対策事業 (防災倉庫設置)	A	自主	防災防犯部会 (自主防災)	自己	●	●	●	●	●
継	防災対策事業 (防災・防犯〔家庭・グループ〕の推進)	A	自主	防災防犯部会 (自主防災)	自己	●	●	●	●	●
新	防災対策事業 (海拔値の表示)	A	協働	防災防犯部会 (自主防災)	自己 その他	●	●	●	●	●
新	防災対策事業 (各地域の避難場所〔高台〕検討・協定)	B	協働	防災防犯・地域づくり部会 (自主防災・各自治会)	自己 その他	●	●	●	●	●
新	防災・対策事業 (消火器・消火栓・AED設置地場所提示)	B	自主	防災防犯部会 (自主防災)	自己	●	●	●	●	●
新	安全なまちづくり事業 (防犯灯・避難経路・防災倉庫活用の検討)	B	協働	防災防犯・地域づくり部会 (自主防災・各自治会)	自己 その他	●	●	●	●	●



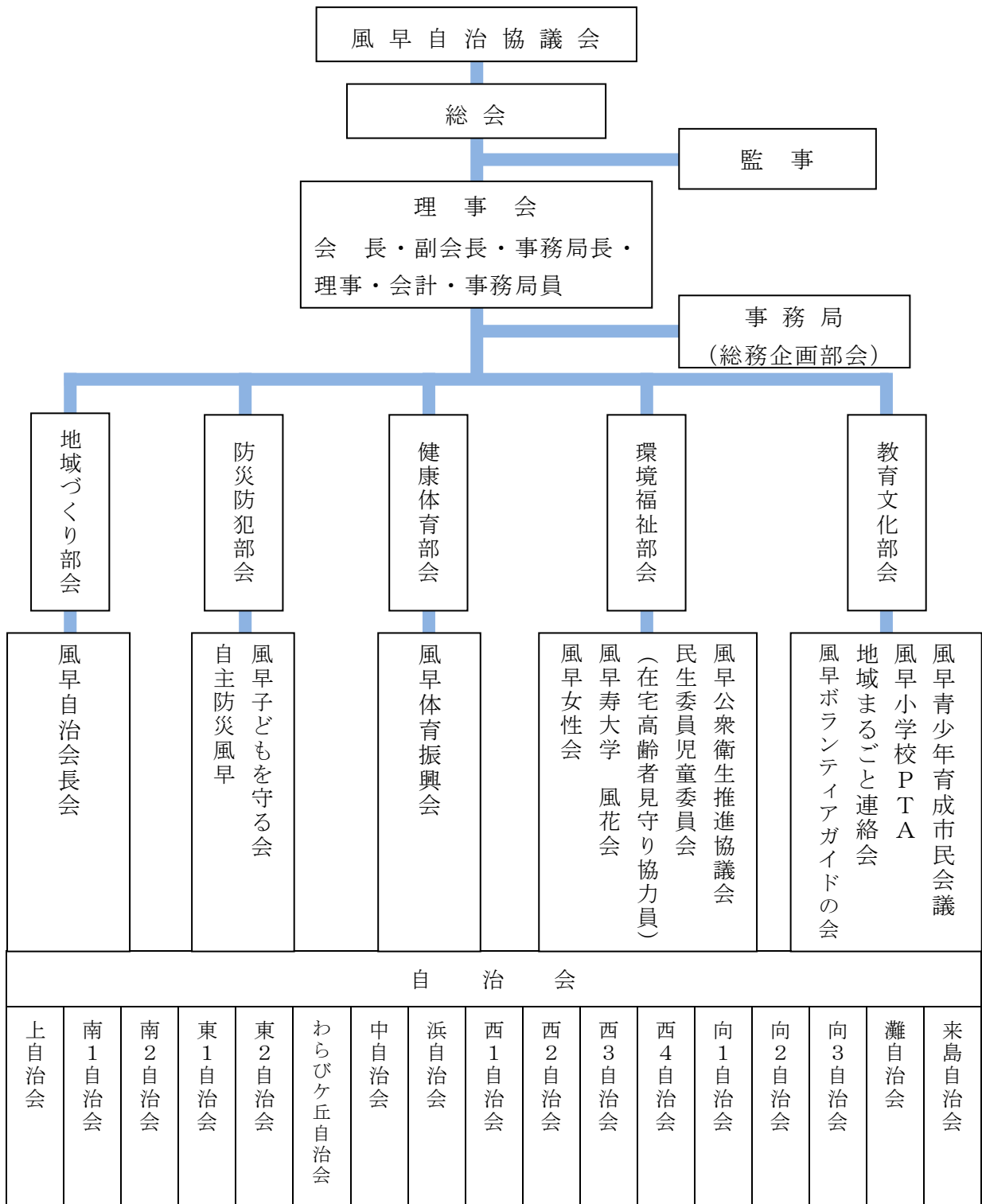
⑤ 人が集い 活力あふれる まちづくりをめざす (地域の絆づくり, 地域の活性化, 担い手づくりなどに関すること)

(検討 ----▶) (実施 ●————▶)

事業名 継(継続事業)・新(新規事業)		優先 順位	実施			事業実施計画				
			主体	担当	財源	H25	H26	H27	H28	H29
継	伝統行事の継承	A	自主 協働	各自治会	その他 自主	●————▶				
新	人材育成事業 (地域活動の担い手の発掘, 育成)	A	自主	地域づくり部会 (自治会長会)	自主	●————▶				
新	婚活事業 (婚活OG会)	B	自主	女性会	自主	●----▶	●————▶			
継	地域課題のとりまとめ	A	自主	自治会長会・事務局	自主	●————▶				
新	地域活性化事業 (トンボまつり・ほたるまつり)	C	自主	地域づくり部会 (自治会長会)	自主	●----▶	●————▶			
継	情報発信 (広報紙の発行・ホームページの活用)	A	自主	自治協事務局	自己 交付	●————▶				



VI 組織体制



VII まちづくり計画策定委員名簿

役職名	氏名	部会
会長	上川 一水	環境福祉部会
副会長	坂 信行	環境福祉部会
副会長・事務局長	二宮 康成	教育文化部会
副会長	北藤 博之	防犯防災部会
委員	植向 省三	教育文化部会
委員	岩崎 和仁	教育文化部会
委員	丹下 和貴	教育文化部会
委員	横田 文江	環境福祉部会
委員	能島 昇三	環境福祉部会
委員	日浦 和憲	環境福祉部会
委員	中村 昌典	健康体育部会
委員	寺岡 一文	健康体育部会
委員	越智 有加	健康体育部会
委員	日浦 昭博	防災防犯部会
委員	曾我 光幸	防災防犯部会
委員	三ノ京 清	防災防犯部会
委員	石田 信義	地域づくり部会
委員	杉本 源藏	地域づくり部会
委員	砂原 正司	地域づくり部会
委員	山本 博美	地域づくり部会

風早自治協議会（風の郷）事務局

〒739-2403

東広島市安芸津町風早 1214-1

風早地域センター内

TEL・FAX (0846) 45-0023

ホームページアドレス <http://kazahaya.info>